

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
	ドッグトレーニング学科 しつけインストラクターコース		1,140 時間	160 時間	
	ドッグトレーニング学科 補助犬・セラピー犬トレーナーコース		1,076 時間	160 時間	
	ドッグトレーニング学科 保育・介護アドバイザーコース		1,076 時間	160 時間	
	動物飼育管理学科 動物飼育・アニマルコミュニケーターコース		2,232 時間	240 時間	
	動物飼育管理学科 アニマルセラピーコーディネーターコース		2,240 時間	240 時間	
	動物飼育管理学科 動物福祉・トータルケアアドバイザーコース		2,080 時間	240 時間	
	ペット栄養・メディカルトリマー学科		1,736 時間	160 時間	
	ネイチャーアクアリウム学科 ネイチャーガイド・フィッシング		1,536 時間	160 時間	

	コース				
	ネイチャーアクアリウム学科 昆虫・爬虫類コース		1,504 時間	160 時間	
	ネイチャーアクアリウム学科 ネイチャーアクアリウムコース		1,472 時間	160 時間	
	ネイチャーアクアリウム学科 錦鯉ビジネスコース		1,482 時間	160 時間	
	ペット美容学科 サロントリマー・ペットエステコース		1,560 時間	160 時間	
	ペット美容学科 ねこ・うさぎグルーミングコース		1,608 時間	160 時間	
	動物看護師・美容学科		2,524 時間	240 時間	
	ペットケア・ビジネス学科 総合動物飼育コース		1,444 時間	160 時間	
	ペットケア・ビジネス学科 猫飼育プロコース		1,420 時間	160 時間	
	ペットケア・ビジネス学科 ペットライフアドバイザーコース		1,412 時間	160 時間	
	海洋生物・ドルフィン学科		1,600 時間	160 時間	
	動物看護師・リハビリ介護学科		2,908 時間	240 時間	
	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科		3,158 時間	320 時間	
	動物看護師・リハビリ・トリマー学科		2,892 時間	320 時間	
	海洋生物・アクアリウム学科		2,864 時間	320 時間	
	動物飼育・ケア学科		704 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表

https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021/jitumu_2021.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

国際ペットワールド専門学校のホームページにて公表
<https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021/officer2021.pdf?170925>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的視点
非常勤	大学教授	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的視点
非常勤	団体職員	2020年3月 31日～2023 年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>専門士授与、高度専門士授与、専門学校卒業の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、犬猫のしつけインストラクター、および、愛玩動物看護師、アニマルセラピーコーディネーター、ペット栄養管理士、飼育員、リハビリマッサージ、ネイチャーアクアリスト、水族館飼育員としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>

授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>ドッグトレーニング学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/dog_training_2021.pdf?1</p> <p>動物飼育管理学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/rearing_management_2021.pdf?1</p> <p>ペット栄養・メディカルトリマー学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/nurse_trimmer_2021.pdf?1</p> <p>ネイチャーアクアリウム学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/nature_aquarium_2021.pdf?1</p> <p>ペット美容学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/beauty_2021.pdf?1</p> <p>動物看護師・美容学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/nurse_beauty_2021.pdf?1</p> <p>ペットケア・ビジネス学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/care_business_2021.pdf?1</p> <p>海洋生物・ドルフィン学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/marine_dolphin_2021.pdf?1</p> <p>動物看護師・リハビリ介護学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/nurse_rehabilitation_2021.pdf?1</p> <p>愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021syllabus/rehabilitation_trimmer_2021.pdf?1</p>
------------	--

	<p>動物看護師・リハビリ・トリマー学科</p> <p>海洋生物・アクアリウム学科</p> <p>動物飼育・ケア学科</p> <p>毎年 4 月に該当年度のシラバスを、学校のホームページにて公表する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績は、科目ごとに100点満点で点数を算出し、95点以上を「S」、80点以上95点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」、60点未満「D」、として評価する。</p> <p>これらの成績分布を、GPAによる客観的な指標として、成績分布状況の把握と公表を行う。</p> <p>GPAは、下記の通り算出する。</p> <p>① 学生一人ずつ、全科目の評価を、</p> <p>「S」評価…5点 「A」評価…4点 「B」評価…3点 「C」評価…2点</p> <p>として換算し、履修した全科目の平均点を、その学生のGPAとする。</p> <p>② 算出されたGPAから、学生のGPAの人数分布図を作成する。</p> <p>③ 下位4分の1のGPAが何点か分かるように表示する。</p> <p>④ 学科ごとにGPAの人数分布図を作成し、その結果について、学校のホームページにて公表する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/distribution_190730.pdf?170925</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。また、水生生物を扱う学科においては、水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>① 年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>② 科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③ 授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>① 年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>② 科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③ 学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④ 授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>「学生の手引き」に記載し、学生証アプリのシステム内に保存したものを学生へ、保護者へは書面を配布する。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021/r3_kasituke.pdf
収支計算書又は損益計算書	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021/r3_shuushi.pdf?170925
財産目録	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021/r3_mokuroku.pdf?5464
事業報告書	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021/r3_jigyohoukoku.pdf?200706
監事による監査報告（書）	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2020/img/pdf/2021/r3_kansahoukoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ドッグトレーニング学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	しつけインストラクターコース 1,738 単位時間	586 時間	時間	1,152 時間	時間	時間
			1,738 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	補助犬・セラピー犬トレーナーコース 1,706 単位時間	618 時間	時間	1,088 時間	時間	時間
			1,706 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	保育・介護アドバイザーコース 1,770 単位時間	618 時間	時間	1,152 時間	時間	時間
			1,770 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		42人	0人	2人	16人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ドッグトレーナーとしての専門技能および、実際に生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p><卒業の条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定（第4章9．取得検定を参照）を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	7人 (63.6%)	4人 (36.4%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ペットショップ、動物病院、その他ペット関連企業</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…90.9%合格、愛玩動物飼養管理士検定2級…90.9%合格、Word検定3級…100%合格、Excel検定3級…100%合格、マナーハンドラーテスト…72.7%</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物飼育管理学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	動物飼育・アニマルコミュニケーターコース 2,566 単位時間	874 時間	時間	1,692 時間	時間	時間
			2,566 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	アニマルセラピーコーディネーターコース 2,574 単位時間	850 時間	時間	1,724 時間	時間	時間
			2,574 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	動物福祉・トータルケアアドバイザーコース 2,726 単位時間	778 時間	時間	1,948 時間	時間	時間
			2,726 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		69	0人	2人	16人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、アニマルコミュニケーター、アニマルセラピーコーディネーター、飼育員としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワー</p>

<p>クの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p><卒業の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。</p> <p>必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
動物病院、ペットショップ、牧場、その他のペット関連施設			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			

(主な学修成果 (資格・検定等))

コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%愛玩動物飼養管理士2級…100%合格、損害保険募集人基礎単位…77.7%合格、Word検定…94.4%合格、Excel検定…100%合格、ペット栄養管理士…100%合格、ホリスティックケアカウンセラー…100%合格、マナーハンドラーテスト…55.5%合格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65 人	1 人	1.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (留学希望)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	ペット栄養・メデイカルトリマー学科	名称変更申請予定	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,894 単位時間	822 時間	時間	1,072 時間	時間	時間
			1,894 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	28人	0人	2人	16人	18人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマーや動物看護助手としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
2021年度動物看護師・栄養学科から名称変更した学科のため記載できず			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
2021年度動物看護師・栄養学科から名称変更した学科のため記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ネイチャーアクアリウム学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ネイチャーガイド・フィッシングコース 1,758 単位時間	830 時間	時間	928 時間	時間	時間
			1,758 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	昆虫・爬虫類コース 1,726 単位時間	862 時間	時間	864 時間	時間	時間
			1,726 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ネイチャーアクアリウムコース 1,694 単位時間	830 時間	時間	864 時間	時間	時間
			1,694 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	錦鯉ビジネスコース 1,704 単位時間	830 時間	時間	874 時間	時間	時間
			1,704 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		27人	1人	2人	16人	18人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ネイチャーアクアリストとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	1人 (14.3%)	4人 (57.1%)	2人 (28.6%)
(主な就職、業界等)			
ペットショップ、観賞魚用品メーカー			

<p>(就職指導内容)</p> <p>目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定 3 級…100%合格、Word 検定 3 級…100%合格、Excel 検定 3 級…83.3%合格、観賞魚飼育管理士ベーシックレベル…100%合格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	1 人	9.09%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職希望)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペット美容学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	サロントリマー・ペットエステコース 1,750 単位時間	486 時間	時間	1,264 時間	時間	時間
			1,750 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ねこ・うさぎグルーミングコース 1,798 単位時間	550 時間	時間	1,248 時間	時間	時間
			1,798 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		75人	0人	4人	14人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマーとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>	
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 	

<p>・「D」60点未満 D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	37人 (97.4%)	1人 (2.6%)
(主な就職、業界等) 動物病院、ペットショップ、トリミングサロン、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%、愛玩動物飼養管理士2級…97.4%合格、サロントリマー検定3級…100%合格、Word検定3級…100%合格、Excel検定3級…92.1%合格、サロントリマー検定1級…100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	4 人	4.9%
(中途退学の主な理由) 精神的な問題、進路変更 (就職希望)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・美容学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,068 単位時間	2,072 時間	時間	996 時間	時間	時間
			3,068 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		98人	0人	3人	15人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
動物病院、ペットショップ、その他ペット関連企業			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%、愛玩動物飼養管理士2級…100%合格、アニコムレセプター検定…100%合格、Word検定3級…100%合格、Excel検定3級…100%合格、ペット栄養管理士試験…100%合格、認定動物看護師試験…95.5%合格、サロントリマー検定3級…100%合格、リハビリ関連資格…100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89 人	1 人	1.1%
(中途退学の主な理由) 精神的な問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペットケア・ビジネス学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	総合動物飼育コース 1,746 単位時間	826 時間	時間	920 時間	時間	時間
			1,746 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	猫飼育プロコース 1,722 単位時間	794 時間	時間	928 時間	時間	時間
			1,722 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ペットライフアドバイザーコース 1,714 単位時間	826 時間	時間	888 時間	時間	時間
			1,714 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		16人	0人	2人	16人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットショップスタッフとしての専門技能および、实际生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p>

<p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p><卒業の条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。</p> <p>必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)</p>			
<p>卒業生数</p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 (自営業を含む。)</p>	<p>その他</p>
<p>10人 (100%)</p>	<p>0人 (0%)</p>	<p>5人 (50%)</p>	<p>5人 (50%)</p>
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ペットショップ、その他ペット関連企業</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等))

コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定 3 級…100%合格、愛玩動物飼養管理士 2 級…90%合格、Word 検定 3 級…80%合格、Excel 検定 3 級…90%合格、ホリスティックケアカウンセラー…100%合格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職希望)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	海洋生物・ドルフィン学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,822 単位時間	958 時間	時間	864 時間	時間	時間
			1,822 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		52人	0人	2人	16人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、水族館スタッフとしての専門技能および、実際に生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	26人 (78.8%)	7人 (21.2%)
(主な就職、業界等) 水族館、観賞魚店、ペットショップ、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…81.8%合格、潜水士…93.9%合格、Word検定3級…78.7%、Excel検定3級…84.8%合格、観賞魚飼育管理士ベーシックレベル…100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74 人	1 人	1.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職希望)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・リハビリ介護学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,132 単位時間	1,976 時間	時間	1,156 時間	時間	時間
			3,132 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		81人	1人	3人	15人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、リハビリテーションや動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、動物看護、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2020年度新設学科のため記載できず			
(就職指導内容) 2020年度新設学科のため記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2020年度新設学科のため記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	2 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 精神的な問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	-	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4,182 単位時間	802 時間	時間	410 時間	時間	時間
			1,212 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		15人	0人	1人	17人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、リハビリテーション、動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格</p>	

<p>した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、動物看護、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。 必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2021年度新設学科のため記載できず			
(就職指導内容) 2021年度新設学科のため記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2021年度新設学科のため記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	1 人	63%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職希望)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	-	名称変更申請予定		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4,660 単位時間	704 時間	時間	394 時間	時間	時間
			1,098 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		23人	0人	1人	17人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、リハビリテーション、動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p>

進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、動物看護、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
2022年度愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(就職指導内容)			
2022年度愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等))			
2022年度愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 2022年度新設学科のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	海洋生物・アクアリウム学科	-	申請予定			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3,438 単位時間	384 時間	時間	496 時間	時間	時間
			880 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	6人	0人	1人	17人	18人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、水族館スタッフやネイチャーアクアリストとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、そ</p>

<p>の点数に関わらず成績はC評価となる。 追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。 必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2022年度新設学科のため記載できず			
(就職指導内容) 2022年度新設学科のため記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2022年度新設学科のため記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 2022年度新設学科のため記載できず		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物飼育・ケア学科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	852 単位時間	524 時間	時間	328 時間	時間	時間
			852 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		3人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>【概要】 次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。 学生に対し、動物管理の一環として、ペットショップスタッフとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。 以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p>

進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2022年度新設学科のため記載なし			
(就職指導内容) 2022年度新設学科のため記載なし			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2022年度新設学科のため記載なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 2022年度新設学科のため記載なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ドッグトレーニング学科	80,000 円	900,000 円	470,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
動物飼育管理学科	80,000 円	900,000 円	450,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
ペット栄養・メディカルトリマー学科	80,000 円	900,000 円	560,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
ネイチャーアクアリウム学科	80,000 円	900,000 円	605,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
ペット美容学科	80,000 円	900,000 円	550,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
動物看護師・美容学科	80,000 円	900,000 円	450,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
ペットケア・ビジネス学科	80,000 円	900,000 円	425,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
海洋生物・ドルフィン学科	80,000 円	900,000 円	600,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
動物看護師・リハビリ介護学科	80,000 円	900,000 円	450,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
動物看護師・リハビリ・トリマー学科	80,000 円	900,000 円	455,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
海洋生物・アクアリウム学科	80,000 円	900,000 円	600,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
動物飼育・ケア学科	80,000 円	700,000 円	255,000 円	その他は、施設費 (年間)、実習費 (年間)、教材費 (年間) の合計
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/zikohyouka2020.pdf?190930
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員は、学校の自己評価に基づき、学校概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、実践的職業教育、教育活動、教育環境、学生の生活支援、学生納付金、学校財務、学校評価、国際連携、その他の各項目について評価、意見を行う。評価委員は、動物関連の企業、校友会 (卒業生)、近隣住民から 3 名以上とする。聴取した意見について、校長、副校長、教務部長で検討会議を行い、翌年度へ向けて現実的に

改善可能な該当箇所の整備にあたる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
新潟市動物ふれあいセンター	2020年4月1日～ 2023年3月31日	企業等委員
株式会社ペタバイト	2020年4月1日～ 2023年3月31日	企業等委員
国際ペットワールド専門学校校友会	2020年4月1日～ 2023年3月31日	卒業生
国際ペットワールド専門学校 Club WaN 会員	2020年4月1日～ 2023年3月31日	近隣住民
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表 https://www.wan-c.jp/wp-content/themes/wan2017/img/pdf/schoolrelationship.pdf?190930		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wan-c.jp/
--